

# 塩竈市議会だより

## 令和2年 9月定例会号

- 議案審議の概要  
常任委員長報告 P 2
- 令和元年度決算審査 P 3
- 討論 P 4
- 市政に対する一般質問 P 5～9
- 議案等賛否一覧表 等 P 10

編集発行 宮城県塩竈市議会報編集委員会 tel 022(355)6793 Nov.2020 (令和2年11月)  
ホームページアドレス <https://www.city.shiogama.miyagi.jp/life/5/36/>



【塩竈市議会HP QRコード】  
市議会の情報は市議会HPでご覧になれます。

### 三陸塩竈ひがしもの出発式



## 定例会のあらまし

令和2年9月定例会は、9月7日から9月25日までの19日間の会期で開催しました。

本会議の初日では、市長より提出議案の説明を受け、総括質疑の後、令和元年度決算については決算特別委員会に、その他の議案については、所管の常任委員会へ付託しました。また、人事案件1件に同意した後、議員提出議案1件を即日審議の上、可決しました。

各常任委員会は3日間開催し、付託した議案及び継続審査中の請願の審査を行いました。

決算特別委員会は4日間開催し、付託した決算の審査を行いました。

本会議2日目と3日目は、8名の議員が市政に対する一般質問を行い、市当局の見解をいただきました。

最終日には、各常任委員長及び決算特別委員長から審査結果の報告を受け、議案9件を可決、請願1件を継続審査とし、決算及び関連議案3件を可決及び認定し、閉会しました。  
(議案の件名と審議結果は10ページ)

### 定例会会議日程

本会議

9月7日 会期の決定、諸般の報告、議案説明、総括質疑、議案付託、人事案件審議及び採決、議員提出議案審議及び採決

委員会

9月9日 令和元年度決算特別委員会  
9月10日 総務教育常任委員会  
9月11日 民生常任委員会  
9月14日 産業建設常任委員会  
9月15日 令和元年度決算特別委員会  
9月16日 令和元年度決算特別委員会  
9月17日 令和元年度決算特別委員会

本会議  
委員会

9月18日 市政に対する一般質問  
9月23日 市政に対する一般質問

本会議

9月24日 議会運営委員会  
9月25日 各常任委員会委員長報告、議案審議及び採決、民生常任委員会委員長請願審査報告、請願審議及び採決、令和元年度決算特別委員会委員長報告、議案審議、討論及び採決

13億1629万4千円の増額補正予算を可決

9月定例会の一般・各特別会計補正予算は、13億1629万4千円が計上され、補正後の予算総額は581億6372万9千円となりました。主な事業は次のとおりです。

一般会計

【補正額】

12億7132万1千円

1 新型コロナ対策事業

【補正額】7億7136万4千円

①地域情報システム整備事業（補正額6億円）

浦戸諸島に大容量通信の光ファイバー回線を整備

②フレイル予防啓発事業（補正額828万円）

75歳以上の高齢者にフレイル（虚弱）予防のための自宅で行える体操グッズ等を配布

③公立保育所感染症対策事業（補正額1億円）

東部保育所において保育室のレイアウト変更や、トイレ機器等の更新等を実施 など

2 通常事業

【補正額】3億1500万5千円

①本庁舎敷地内の法面安全対策事業（補正額2億9400万円）

崩落の危険性のある本庁舎北側法面の安全対策工事 など

特別会計

【補正額】4497万3千円

①国民健康保険事業（補正額664万円）

市民健康診査時の感染対策

②介護保険事業（補正額2470万7千円）

コンビニ収納等の導入 など

③後期高齢者医療事業（補正額1362万6千円）

コンビニ収納等の導入 など

条例

塩竈市市政に係る重要な計画の議決等に関する条例の一部を改正する条例

**常任委員長 報告**

9月定例会において、議案9件を各常任委員会に付託し、慎重に審査が行われました。委員長報告の要旨は次のとおりです。

**総務教育常任委員会**  
委員長 志子田 吉 晃

◎議案第58号及び第59号、第63号、第66号は原案のとおり可決すべきものと決しました。

「一般会計補正予算要請意見」

○浦戸諸島への光ファイバー整備については、浦戸諸島内には、携帯電話の電波が届きにくい場所もあることから、今回の整備を機会に、各携帯電話回線事業者において改善が図られるよう、働き掛けを行いたい。

「財産の取得についての要望意見」

○塩竈市立小中学校児童生徒

用情報機器等購入については、学習者用コンピュータ端末が故障した際に児童生徒の学習に影響が無いよう、速やかに復旧、保守等がなされるよう努められたい。



民生常任委員会

委員長 阿部 かほる

◎議案第59号、第62号は、原案のとおり可決すべきものと決しました。

「一般会計補正予算要請意見」

○自宅で行うフレイル予防啓発事業については、体操グッズの配布による運動の啓発のほか、栄養価を意識した食生活等、健康全般に関わる情報をリーフレットへ掲載するなど、より一層、効果的な事業となるよう努められたい。

○保育所等新型コロナウィルス感染拡大防止対策事業については、私立保育園など民間事業者が管理運営する施設に対する補助等により整備を進めることから、当該事業の周知の徹底に努められ、新型コロナウィルス感染拡大を防止し、保育所等を安心して利

用いただくための環境整備を図られたい。



産業建設常任委員会

委員長 山本 進

◎議案第59号は、原案のとおり可決すべきものと決しました。

「一般会計補正予算要請意見」

○市道整備事業については、より有利な財源である社会資本整備総合交付金事業の採択が得られたことから、事業費の増額と財源の整理を行うものであるが、整備しようとする箇所は傾斜地であり冬季は滑りやすくなることから、滑りにくい舗装材の導入や滑り止めの配置などにより安心して市民が通行できるように整備されたい。

請願

審議結果は次のとおりです。

○継続審査としたもの

▼国民健康保険財政調整交付金の「子ども被保険者分」を活用した子どもに関わる均等割の減免制度創設を求める請願



改修が行われる東部保育所



## 令和元年度

## 一般・特別・企業会計決算を認定

令和元年度一般・特別・企業会計決算審査のために設置した「令和元年度決算特別委員会」は9月9日に開会され、初日に正副委員長の互選を行い、委員長に阿部眞喜委員、副委員長に小高洋委員を選出しました。同委員会は4日間にわたる審査の結果、いずれも認定すべきものと決しました。本会議4日目に決算特別委員長報告を受け、採決の結果、各会計の決算が認定されました。監査委員報告及び決算特別委員会委員長報告は次のとおりです。

## 監査委員報告概要

## 各会計とも適正と認める

一般会計及び各特別会計の歳入歳出決算の審査の結果、決算書等がいずれも法令に準拠して作成されており、諸帳簿・電算財務会計と照合し、計数も正確である。また、各会計の予算執行も良好なものと認められた。

一般会計の実質収支額は黒字となったが、実質単年度収支額は赤字となった。これは、財政調整基金の繰入額が前年度よりも増えたことによるものであるが、新型コロナウイルスの影響などを見据え、基金を確保できる財政運営に取り組まれない。

普通会計の財政状況は經常収支比率が改善されたが依然として高い状況にある。公債費比率は十分に改善されている。

特別会計事業決算の歳入歳出額、実質収支額は同額か黒字となっている。

病院事業会計は、収益が向上しているものの患者の減少傾向が続いているので、一層努力されたい。

水道事業会計は、黒字額が増となっているが、給水人口の減少などが見込まれることから、経営健全化の努力を続けられたい。

決算特別委員会  
委員長報告

## ▼一般会計

◎本市の經常収支比率は、依然として高い水準である。自主財源の確保と併せ、歳出の抑制に努め、健全な財政運営を行われたい。

◎契約事務は、前例踏襲ではなくコストダウンを図る工夫や、契約内容を精査し、公平公正な執行に努められたい。

◎職員の時間外勤務の状況は、フレックスタイム制の導入を行うなど、時間外勤務時間数の縮減策の検討を行われたい。

◎予防接種事業は、国の方針などの状況を踏まえ、市民の疾病予防・健康管理の推進を図られたい。

◎シャッターオープン・プラス事業は、アンケート調査の分析結果などを活用し、市街地の商業活性化を図られたい。

◎消費者対策事業は、訪れやすい窓口の設置場所を検討されるなど、市民の被害の防止に努められたい。

◎市営住宅管理業務は、宮城県住宅供給公社と共に夏場の熱中症対策などを検討され、

住環境の向上に努められたい。

◎防災体制整備事業は、三密を避け、一人でも多く避難者を収容できる体制の整備や消費期限が近くなった防災備蓄品の有効活用を検討されたい。

◎塩竈市子ども心のケアハウス事業は、専任で従事する人員の確保や国・県の動向を踏まえた財源の確保に努められたい。

## ▼特別会計

◎各特別会計の経費は、経営に伴う収入を以て充てること が原則であり、繰入金によらない運営に努められたい。

◎国民健康保険事業特別会計は、滞納者に丁寧に対応することが、結果として徴収率の向上につながるのと事例もあるため、今後研究され市民に寄り添った対応をとられたい。

◎魚市場事業特別会計は、指定管理者制度の導入などを検討し、コスト削減を図ることや経営効率化につながるよう、問屋部門と卸売部門の一本化について研究されたい。

◎後期高齢者医療事業特別会計は、滞納者に発行する短期被保険者証について、医療機関への受診抑制につながるまいよう、交付方法について配慮されたい。

◎下水道事業特別会計は、下水道使用料に一部未賦課があった問題について、原因を究明するとともに、遺漏が発生しないよう再発防止に取り組まれたい。

また、宅内貯留施設事業は、多くの市民が設置について協力できるよう、きめ細かな対応をとられたい。

## ▼企業会計

◎市立病院事業会計は、さらなる経営改善に努められるとともに、現在開催されている市民向けセミナーの内容を深め、市立病院の在り方についても市民と広く議論されたい。

◎水道事業会計は、管路からの漏水調査及び修繕等を十分に行うことにより、漏水分の無駄な水処理に係る経費の削減に努められたい。



令和元年度決算特別委員会委員長報告

# 討 論

9月25日の本会議において討論を行いました。

その概要は次のとおりです。

## 認定第1号

**反対討論** 第4次塩竈市行財政改革推進計画は、歳出抑制に重きを置き、職員を減らしたことで業務が多忙化し、大変な超過勤務を伴うものとなつている。病気により休業を余儀なくされている職員は20人を超え、このような現状で、市民の多様な要望に十分に応えることができるのか疑問で

ある。行き過ぎた人件費の抑制は、行政サービスの低下につながるるとともに、昨年の台風第19号などでも明らかになつたように災害対応力の低下にもつながる。本来、市の財政は、人口増や地域経済の発展を通じた歳入増によって改善されるべきであり、行財政改革も市民の暮らしや地域経済を守ることを通じた歳入増を目的とすべきである。本市の行財政改革全てを否定するものではないが、地域の実情を考慮せず、国の方針により一律的に進められている行財政改革には賛同できない。

住民基本台帳ネットワーク事務事業を始めとするマイナンバーカード関連事業は、国民の利便性の向上や行政の効率化などの利点があつたが、様々な個人情報が一つの番号に紐付けされ、利用されかねないことへの不安から、マイナンバーカードの交付率は低迷している。特別定額給付金支給の際にも、マイナンバーカードを普及させたという政府の思惑により、余計な混乱を招いたことは倫理的に許されるものではなく、プライバシーやセキュリティへの懸念から反対する。

宮城県地方税滞納整理機構では、本来、滞納者一人一人の事情に寄り添って行われるべき徴収業務が行われていない。すでに脱退している自治体もあることから、本市の参加について反対する。

国民健康保険事業は、本市では、国民健康保険税滞納者に短期被保険者証や被保険者資格証明書を発行しているが、他自治体では、それらの発行を中止している例もあることから、滞納者へ寄り添った対応への転換を強く求める。

介護保険事業は、増加する保険料や利用料のため、ます

ます利用しにくい制度となる一方、介護職員の賃金は低く、定着できないため、職員が集まらず開所できない施設がある現状を踏まえ、本市としても国に対し、抜本的な制度の改善を求めるべきである。

後期高齢者医療事業は、令和元年度から段階的に保険料の均等割額特別減額措置の本則移行が行われている。令和3年度には本則どおりの軽減措置となり、後期高齢者の負担が更に増すこととなるため、本市としても国に対し本制度の見直しを求めるべきである。

以上のことから反対する。

## 賛成討論

振り返れば、令和元年度予算は佐藤昭前市長が通年予算として提案したものであった。その際反対した

として高い水準にあることに不満があるもの、おおむね賛成である。

また、決算指標を見ると各種健全化判断比率は、前年度に引き続き健全団体の水準を維持されていると認められ、

方々は、理由としてマイナンバーカード関連事業、行財政改革、宮城県地方税滞納整理機構への参加について反対していたが、私は、決算審査に当たっては、例え一部の事業に不満があろうとも大局的、総合的な評価が大事であると

一般会計の決算規模は200億円台であり、前年度から若干の増となつた。これは、第5次長期総合計画及び震災復興計画が着実に実行されてきたためであり、入札不調が続いていた浦戸地区の復旧・復興工事や海岸通地区震災復興市街地再開発事業など、本市の復旧・復興事業の進捗が

えた決算であると、評価するものである。

どの臨時的な要因に基づく取り崩しが行われたものの、適正な水準が維持されており、確実な財政運営を進められたことが認められる。

しかし、経常収支比率は、依然として高い水準にあり、これについては、歳出の更なる削減を図るとともに、本市独自の人口増加策を展開するなどして、自主財源の確保を図っていただくことを切に期待するものである。

令和元年度塩竈市一般会計及び各特別会計の決算は、市当局の不断の努力が重ねられた結果、確保できた決算であると評価するものであり、コロナ禍の中ではあるが、佐藤光樹市長のリーダーシップの下、市民の安全と安心な暮らしを守り、山積した課題を一步一步着実に解決され、素晴らし

は、一般会計からの繰出しの多さや、経常収支比率が依然

図られ、復興期間10年目の令和2年度へつながる取組が見

高額の医療利用受給者の増による生活保護医療扶助費の増な

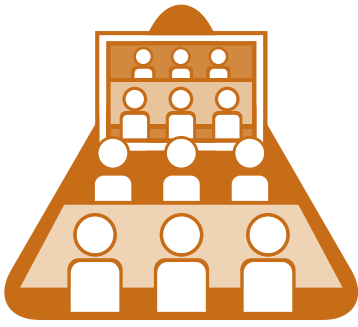
事業の進捗や決算指標がおお

のみである。

以上のことから賛成する。



# 市政に対する 一般質問



市政に対する一般質問は、9月18日、23日の2日間に8人の議員が行いました。ここでは質問の中から2つ取り上げて、その要旨を掲載しています。なお、各議員が行った質問の項目も掲載しています。



公明党  
菅原善幸

## 「新しい生活様式」 に向けた諸施策は

議員 「新しい生活様式」に対応した施策について、次の2点を伺う。①国は、コロナ禍に対応するため、デジタル化への集中投資と環境整備を進めて行くとしており、「地域未来構想20」の中で、地域で取り組むことが期待される施策を示しているが、本市の具体的な取組は。②マイナンバーカード普及に向けた本市の現状と課題は。

市長 ①本市の具体的な取組としては、浦戸諸島の情報通信インフラ整備を図る「光ファイバー整備事業」や、公金の納付にキャッシュレス決済を取り入れる「各種公金の新たな納付方法の導入事業」、東部保育所の3密対策施設改修を行う「公立保育所感染症対策事業」などを実施してまいりたい。

市民総務部長 ②本市のマイ



交付枚数率の向上が期待されるマイナンバーカード

## 小中学校の教育 現場は

議員 コロナ禍における教育現場の対応と今後の取組について、次の2点を伺う。①緊急事態宣言以降、感染への不安や学校環境の変化に対する

戸惑いから、不登校となる児童生徒が増えるのではないかと心配するが、現状と対応は。②保健室や給食時におけるコロナ対策は。

しかし、登校しているものの、サポートルームなど別室を利用する児童生徒数は、前年度から20名増加しており、今後も学級担任やサポートルーム支援員等で、組織的に児童生徒の心のケアに取り組んでまいりたい。②文部科学省より示されたマニュアルのつとめ、保健室では、児童生徒が触れることが多い箇所の消毒や学内で発熱等の症状が出た場合に備え、他者との接触を避けられるよう別室を設けるなどの対策をしている。給食時には、食前食後の手洗い・消毒の徹底や机を向かい合わせにせず、大声での会話を控えるよう指導している。

議員 ①不登校児童生徒数は、前年度同月と比較すると5名少なくなっており、コロナ禍に起因した不登校が増えているとは考えていない。

教育長 ①不登校児童生徒数は、前年度同月と比較すると5名少なくなっており、コロナ禍に起因した不登校が増えているとは考えていない。



公明党  
浅野敏江

## 子育て支援は

議員 子育て支援について、次の3点を伺う。①「育児パッケージ」と「赤ちゃん避難グッズ」を全新生児に支給してはどうか。②「子育て世代包括支援センター」がいよいよ来春開設予定である。保健師によるケアプランの作成など、妊娠期から子育て期まで切れ目のない支援を実施するため、「塩釜版ネウボラ※」を創設してはどうか。③母親の産褥期を支援するため、産後ケアに関する事業を行うてはどうか。

市長 ①今後配布する「赤ちゃん避難グッズ」に対する市民の反応を確認しながら、「育児パッケージ」についても検討してまいりたい。

健康福祉部長 ②子育て世代包括支援センターにおいて、保健師などの専門性をいかした妊娠期から子育て期までの



配布予定の赤ちゃん避難グッズ

切れ目のない相談支援体制の充実を図ってまいりたい。  
③子育て世代包括支援センターで実施する事業と合わせ、デイサービス型での事業を実施してまいりたい。  
※「相談の場」という意味のフィンランド語で、母子とその家族を支援する目的で設置される拠点のこと。

## 定住促進は

議員 定住促進について次の2点を伺う。

①民法が改正され、公営住宅入居時の連帯保証人の取扱いについては、各自治体の判断

で不要とすることができるようになった。単身世帯の高齢者が増加していることを踏まえ、本市でも、連帯保証人を不要とすべきと考えるが見解は。

②全国的に空き家が増え、社会問題化している。空き家の適正な管理や利活用などを総合的・計画的に推進するため、本市においても「空き家等対策計画」を策定してはどうか見解を伺う。

定住促進課長 ①宮城県より、連帯保証人制度を継続することや、保証人に対して極度額を設定し保証を求めるといいう方針が示されており、県内の自治体は、この方針の下、統一した運用を行っているので、ご理解いただきたい。  
②本市では、市民からの要請などに基づき、適切な管理が行われていない空き家の所有者に対し、改善を求める文書を送付している。

また、現在空き家の実態調査を行っており、空き家等対策計画の策定については、実態調査の結果を踏まえ、検討してまいりたい。

その他の質問項目  
① 新型コロナウイルス感染症防止策は

## 市政に対する一般質問



日本共産党  
塩釜市議団

伊勢由典

## 新型コロナウイルス感染症対策は

議員 新型コロナウイルス感染症者は、9月17日現在で県内346名、塩竈市24名の陽性者が確認された。宮城県、仙台市、宮城県医師会は9月13日共同の記者会見を行い、「感染防止と宮城アラート」を表明した。9月15日現在、新型コロナウイルス感染者病床63床中33人が入院し医療病床も切迫している。国は8月28日新型コロナウイルス「新型コロナウイルス感染症に関する今後の取組」を各自治体に通知している。

新型コロナウイルス感染症対策とPCR検査等の取組に関する塩釜医師会との連携について伺う。

市長 国が都道府県に対し指針を示し、早期に新たな検査体制整備計画を策定するよう要請し、「季節性インフルエンザ流行期に対応した地域の

医療機関での簡易・迅速な検査体制構築」と「抗原簡易キットを大幅拡充」することなどが示されている。  
健康福祉部長 検査の実施主体は県となっているため、本市の対応としては、県及び医師会と情報共有を行いながら、今後の検査体制拡充に向けた連携を一層図ってまいりたい。

## 入札制度改善の要望は

議員 9月の建設新聞に「就任1年佐藤市長・入札制度の見直し」の記事が報じられた。「塩竈市災害防止協力会」から7月27日に最低制限価格の

公表、一般競争入札の地域貢献など地元建設業育成の立場から8項目の要望書が提出されたと聞いている。私も平成29年の決算特別委員会において、最低制限価格の公表や一般競争入札における地元優先の総合評価点を提案していた。入札制度の見直しについて、これまでの経過と何が改善されたのか、何を目的にした入札制度改善なのかを伺う。

市民総務部長 要望を受け、地元建設業者の保護及び育成を目的として、指名競争入札への最低制限価格の導入や、一般競争入札及び総合評価落札方式において失格基準価格の引き上げを実施した。総合評価落札方式での評価項目については、市内に本社がある場合の加点を高め、保護観察対象者の雇用や消防団協力事業所の認定について新たな評価項目とした。また、設計図書の電子化を行ったところである。これらの取組については9月1日以降の工事発注から適応している。



宮城県塩釜保健所

その他の質問項目  
① インフルエンザ予防接種は  
② 女川原発再稼働は  
③ 学びの環境整備緊急提言は





創生会

今野 恭一

### 神社裏参道脇 駐車場は

議員 鹽竈神社裏参道の鳥居脇にある宮町分庁舎跡地は、公用車などの駐車場として利用されている。現在の鹽竈神社参道は、伊勢神宮の門前町であるおかげ横丁や金毘羅さんなど、他の神社仏閣の参道の賑わいとは全く比較にならない状況である。

現在の駐車場用地を観光客の集客に繋がる事業や施設のための用地として活用してはどうかとの市民からの意見があるが、見解を伺う。  
産業環境部長 宮町分庁舎跡地については、現在は主に沓番館庁舎の公用車の駐車場などとして使用しているが、休日の大規模イベント開催時には公用車を本庁舎などに移動し観光客の駐車場として開放している。市では門前町の活性化を重点課題の一つと位置付け、門前町の再生検討部会



鹽竈神社裏参道と宮町の駐車場

を設け検討させていたでいる。議員ご指摘の他の観光地との比較も重ねながら、鹽竈神社を訪れていたたく観光客の皆様が市街を回遊、滞在いただけるにはどういったものが必要なのか、現在検討を行っているところであり、今年度中には一定の方向性を打ち出したい。

### 市立病院の今後は

議員 市立病院には何十年前前から家族ぐるみで大変お世話になってきた。昔は多くの患者さんで前も見えないほどであったが、最近はいぶ患

者さんが少なくなつたと実感する。経営改革プランを立ち上げ、大変な努力をされていることは理解するが、これまで黒字になつたことがなく、毎年多額の繰入金をもって運営している状況である。市民からは民間に売却してはとの意見もある。病院が設立された時代と現在では取り巻く状況が異なつている中、今後の市立病院の在り方についてどのように考えているのか伺う。  
市長 昨年に病棟を再編したことなどにより、繰入金の大幅な削減を達成したが、新型コロナウイルス感染症の流行により経営に大きな影響が出ている。地域医療の役割と病院施設の老朽化については本市の重点課題の一つと位置付けているところである。病院の在り方についても庁内のプロジェクトチームが検討を進めており、その結果を見極めてまいりたい。経営の安定についてはコロナ禍の中にあることから状況確認にお時間をいただきたい。

その他の質問項目  
① 市長の政治姿勢は  
② 子育て支援は  
③ 市庁舎の建替えは



創生会

志賀 勝利

### 建設業法は

議員 浦戸地区のがれき処理に関する調査特別委員会で、連絡協議会の下請企業の請求書に水増し請求が存在し、市に対し再調査を求めたが、当時の佐藤昭市長は建設業法上発注者と元請は対等な立場で行政が基本、下請はどこかと言口を挟むことは法律上許されないと再調査を拒否していた。

しかし平成13年頃に「下請け保護法」が施行され、発注者は元請と下請の契約方法や金額まで管理することとされ、調査委員会はだまされていた。議会に対する当局の答弁はいかがなものか。  
市民総務部長 議員ご指摘の要綱について、第3条において元請業者がすべてを下請に出すことは禁止している。また、同条第3項では市が発注する工事を施工するにあたり、

### 東日本大震災時の 対応は

議員 本年6月に浦戸のがれき処理関係の「不当利得返還」の裁判で一審判決があった。原告の申し立ては棄却となった。棄却となった一番の理由



この惨状の陰で

は契約方法である。調査特別委員会全員が認識していた単価契約ではなく、契約時に総額が決まっていた契約であったとの市の主張が認められ、結果不当利得返還請求は裁判で却下された。

市は議会に対し、虚偽の説明を繰り返していた。こうした事実を議員全員が認識し、市当局の曖昧な答弁にごまかされないよう今後なお一層注意すべきである。

**産業環境部長** ご質問については浦戸諸島災害廃棄物仮置場管理業務に関わるものであり、仙台高等裁判所において不当利得返還請求控訴事件として、現在住民訴訟が継続されているところである。

裁判での論点とご質問の内容に重なる部分があることから、顧問弁護士と相談した結果、議会という場ではあるものの裁判に影響することも考えられるので、浦戸一次仮置場に関する質問については、この場での答弁を差し控えさせていただきます。



オール塩竈の会  
阿部真喜

### 新型コロナウイルスによる調査は

**議員** 3月から新型コロナウイルスの感染が世界的に拡大している中、本市でも感染者が出るなど市民の不安が広がっている。感染した方々の一日も早い快復を願う。コロナ禍における市民のメンタルケアについて次の3点を伺う。  
①事業者向けの新型コロナウイルスに関する本市独自のメンタルケアを行うべきと考えるかがか。  
②主婦や高齢者向けのメンタルケアを行うことは可能か。  
③子ども達向けの抗原検査と陰性証明書を発行することは可能か。

**市長** ①長引くコロナ禍の中で労働者の心理も多大な影響が及んでいると感じている。

宮城県産業保健総合支援センター等が小規模事業者のストレスチェックや相談等のサポートを行っている。関係機



『ココロの体温計』は気軽にストレス度や落ち込み度をチェックできるセルフチェックシステムです。



ココロの体温計（塩竈市HPより）

関と連携を図るとともに、事業所への利用啓発に努めたい。  
**健康福祉部長** ②平成24年度からパソコン等からアクセスができる「ココロの体温計」というストレスチェックを行っている。教育部長 ③国の動向を注視し、情報収集を行ってまいりたい。

### 女性のスキルアップ支援は

**議員** コロナ禍ではあるが、リモートなどを活用し実施できる事業はある。名取市では女性のキャリアアップ支援として、リモートを活用した

キャリアアップ講座などを開催している。子育てで時間が作れない女性でも後日勉強できる体制を整備することで女性の起業支援にもつながる。また、北九州市では「女性の輝く社会推進室」を設け、市役所内で女性の働きやすい環境に対するアンケート調査などを行っているが、本市でも女性がいつまでも輝ける支援策を行うべきと考えるが見解を伺いたい。

**市民総務部長** 平成29年3月に策定した第2次しおがま男女平等・共同参画基本計画において、女性職業能力開発の支援を課題の一つとして掲げている。令和元年度は、本塩釜駅での街頭啓発活動や、市内で就労または地域活動に取り組んでいる女性の方々に参加いただき、キャリアアップ研修を開催した。

今年度は、市内の市民活動団体のオンライン研修についての関心度の調査等や女性の社会進出に向けての研修を実施したいと考えている。

その他の質問項目  
①市政80周年に向けた取組は  
②現代版寺子屋は  
③浦戸諸島は など



オール塩竈の会  
志子田吉晃

### 地震等災害対策は

**議員** 令和の時代に入り、大型台風等の自然災害が急増している。また、同時に中国発の新型コロナウイルスの感染が拡大し続けている。

自然災害時の対応について次の3点を伺いたい。  
①避難所における新型コロナウイルス感染防止対策は  
②電源備蓄と食糧備蓄は  
③ドローンによる監視体制は  
**危機管理監** ①非接触型の体温計、マスク等の感染症対策の資機材を備蓄している。総合防災訓練において入場時の体温測定や消毒液の配置、また、定期的な換気等3密状態にならないよう運営を行った。

②指定避難所に発電機を配備しているが、一度に多数の携帯電話等の充電を行うことは困難な状況である。避難時の持ち出し品に充電用のバッテ





利府中インター線の工事の様子

## 利府中インター線の改良工事は

議員 利府中インター線の増幅延長工事については、現在、吉津集会所前の交差点まで造成中である。  
便利な県道になることを願

リー等を加えていただくよう周知に努めたい。  
食料・飲料水については、東日本大震災時の最大避難者数8771名に配布した場合に2日分を確保している状況である。  
③関係機関と協議しながら、先進地の事例を検証し、検討したい。

うが、交差点の水準高が近隣住民への説明よりも高く工事が行われているとの懸念が持たれており、歩道がフラット化となるよう工事の見直しを要望したい。

本工事について次の3点を伺いたい。

①吉津集会所前交差点の水準高について

②歩道のフラット化について

③道路計画の進捗について

建設部長 ①本工事は、平成21年に始まっており、道路高については、当初計画から変更はないことを宮城県仙台土木事務所に確認している。

②県に確認したところ、暫定的な高低差の解消を検討した経過があり、今後も検討していくとの回答を得ている。

③今年度の工事は、基本的に今年度で完成するよう取り組んでいくということを県に確認している。

本市としては、早期の全線開通に向けて間断なく整備が進められるよう引き続き働きかけを行いたい。

その他の質問項目

①コロナ対策支援事業は

②市立病院内のコロナ対策は

③側溝蓋の整備は

など



オール塩竈の会

鎌田 礼二

## 市立病院は

議員 現在の市立病院改革審議会は、病院内部だけのことであり、これ以上の改革は望めない。

今後は、改革のみならず廃止・売却・建替等も含めた幅広い議論が必要であり、病院事業管理者や市長でも今後の方向性を判断するのは、困難ではないかと考える。

病院の状況と本市の行財政状況等を第三者機関を設置し、総合的に分析を行い、今後の方向性を答申していただき、それを参考に進むべき方向を議論してはいかかと考えるが、市長の見解を伺いたい。

市長 身の丈にあった市政運営が必要になってきている。

これまでの経緯・経過を無視することはできないので、現状や課題がどのような方向性で進んでいるのか見極める必要があると考える。

その上で、このような問題を通じて、特に若手職員に本市の現状をしっかりと認識してもらおう必要性を感じている。最大で6万4千人いた人口も現在は5万4千人である。現状の認識をしっかりと行い、時代に合わせ、身の丈に合った市政を運営するための準備を、現段階では行っている。

## 食品ロスは

議員 まだ食べられる食品がゴミとして捨てられてしまう「食品ロス」が問題になっている。食品ロスは一年間で国民一人当たり年間48キロにも

なるそうであるが、特に学校給食での実態はどうか。  
また、学校給食をとおして命の大切さ・食物連鎖・栄養やビタミン等から健康について、さらに、世界の食料事情等を考える良い機会になると考える。

食育指導は、教育としてのウエイトは高いと思うが、本市の食育指導についてどのようになっているか伺いたい。

教育部長 令和元年度の本市の学校給食1食当たりの残食率は、小学生が7%、中学生は6.5%であり、平成27年に環境省が実施した調査結果によれば、全国平均より若干少ない状況である。

給食の時間を利用して、いろいろな食材をバランスよく十分な量を食べることの大切さや、命を頂いているという感謝の気持ちを持つための食育指導を行っている。

また、仙台牛の講話会など生産者の苦勞や、食材に対する理解・関心を高めるための取組等を行っている。

その他の質問項目

①自殺予防対策は

②障害者の親亡き後の対応は

③ふるさと納税は

など



仙台牛の講話会の様子

# 議案等賛否一覧表

○：議案等に対して賛成  
×：議案等に対して反対  
／：議長は採決に加わりません

会議名	議案番号 議案件名	議員氏名	公明党		日本共産党 塩竈支部			創生会			オール塩竈の会					審議結果								
			浅野敏江	小野幸男	菅原善幸	曾我ミヨ	伊勢由典	小高洋	辻畑めぐみ	志賀勝利	今野恭一	伊藤博章	山本進	土見大介	香取嗣雄		阿部かほる	西村勝男	阿部眞喜	鎌田礼二	志子田吉寛			
8月臨時会	議案第54号 令和2年度塩竈市一般会計補正予算		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決	
	議案第55号 令和2年度塩竈市交通事業特別会計補正予算		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	議案第56号 令和2年度塩竈市立病院事業会計補正予算		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	議案第57号 令和2年度塩竈市水道事業会計補正予算		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
9月例会	認定第1号 令和元年度塩竈市一般会計及び各特別会計決算の認定について		○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
	認定第2号 令和元年度塩竈市立病院事業会計決算の認定について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
	認定第3号 令和元年度塩竈市水道事業会計利益の処分及び決算の認定について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決及び認定
	議案第58号 塩竈市市政に係る重要な計画の議決等に関する条例の一部を改正する条例		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	議案第59号 令和2年度塩竈市一般会計補正予算		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	議案第60号 令和2年度塩竈市国民健康保険事業特別会計補正予算		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	議案第61号 令和2年度塩竈市介護保険事業特別会計補正予算		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	議案第62号 令和2年度塩竈市後期高齢者医療事業特別会計補正予算		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	議案第63号 工事請負契約の一部変更について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	議案第64号 工事請負契約の締結について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	議案第65号 財産の取得について（小中学校情報機器購入）		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	議案第66号 浦戸地区辺地総合整備計画の策定について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	議案第67号 教育委員会の委員の任命について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	議員提出議案第3号 新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地方財政の急激な悪化に対し地方税財源の確保を求め意見書		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決

## 8月臨時会のあらまし

8月6日に令和2年第2回臨時会が開催されました。国の新型コロナウイルス感染症に関する緊急対応策に伴う令和2年度塩竈市一般会計補正予算等について市長より説明を受けました。

一般会計補正予算は、家賃支援給付金への上乗せ支援事業やしおがま事業継続支援金支給事業(追加支給)などに伴う増額、また議会の政務活動費329万円の減額など、あわせて4億5263万9千円の増額補正予算が計上されました。

特別会計・企業会計は、交通事業、水道事業及び病院事業での感染症対策備品の設置等に必要予算など、2053万8千円の増額補正予算が計上されました。

補正予算案はいずれも可決し、閉会しました。

○ **教育委員会の委員の任命**

佐高 橋輝 香氏

人事

次の人事案件に同意しました。

## 一般会議

7月17日に国民健康保険財政調整交付金の「子ども被保険者分」を活用した子どもに関わる均等割の減免制度創設を求める請願を議題として、塩竈市の国保を良くする会と民生常任委員会による一般会議が開催されました。

委員会は、今後の国・県及び本市の動向を注視し、責任を持って、本請願を審議したいと総括を行いました。

※詳細は、市議会ホームページでご覧になれます。

次回の定例会は

12月8日(火)

午後1時開会予定です

## 編集後記

新型コロナウイルス感染者が本市でも増えております。感染された皆様にお見舞いのご快復をお祈り申し上げます。本市議会では臨時会を開くなど、引き続き敏速かつ慎重に審議してまいります。

議会報編集委員会

委員長 土見 大介